

## 令和4年度「船上山スクール体験入学」実施報告書

### I 事業の概要

1 期日 令和5年2月25日(土) ※日帰り



### 2 日程

午前		午後	
9:30	受付	13:30	4時間目「図工」
10:00	朝の会(出会いのつどい)	14:30	5時間目「学活」(感想記入)
10:20	1時間目「国語・算数」	14:45	帰りの会(別れのつどい)
11:00	2時間目「生活」(雪遊び) ※荒天時や積雪がない場合は、「生活」「体育」を実施する	15:00	解散
12:15	給食		

### 3 ねらい

・小学校の学習体験を通して、4月からの小学校生活への期待と意欲を高める。

4 対象 年長園児とその保護者16組

5 応募者数・当日参加者数

応募者数12組24名、当日参加者数11組22名(年長園児:11名 保護者:11名)

6 参加費 900円

### II 実施状況

#### ■ <2月25日(土) 天候 <晴れ>

あさのかい(出会いのつどい)が始まる前から、小学校の雰囲気漂う机・椅子に少し緊張を感じながらみんなが静かに席についていた。保護者に見守られ、しおりに名前を自分で書く児童がほとんどで、目新しい筆箱や鉛筆を使う姿は、ワクワクしている様子にも見えた。

出会いのつどいの後、机・椅子の座り方、手の挙げ方、返事の仕方を簡単に練習した。指導員に名前を呼ばれたら、手を挙げて「はい」と返事をする時間をとると、みんなが元気よく声を出し、手の先までピンと伸びた挙手をしていた。また、1時間ごとに「姿勢・協力・元気よく」を目標にしていくこと、目標が達成できたら花丸が与えられることを確認し、意欲的にスタートした。



1時間目は「こくご・さんすう」の学習を行った。国語では、最初に「あいうえおのうた」をカスタネットのリズムに合わせて音読した。初めての授業で、緊張もあってか、なかなか声を出すことができなかった。早めに切り上げ、「ことばづくり」のゲームを行った。指導者が提示したものと同じひらがなカードを順番に取りに行き、取ったカードを並び替えてどんな言葉になるのかグループごとで相談した。ゲーム性のある活動で、子どもたちは一気に緊張感もほぐれ、どんな言葉になるか楽しそうに考えていた。

続いて算数では、サイコロを振ってその出た目の数だけカプラを繋げて並べ、長く伸ばしていくゲームを行った。サイコロの目と数字がマッチングできているか不安だったが、指導員の助けも少なく、みんなで協力しながらカプラを並べていた。ゴールが最後になってしまったチームにも応援の声をかける園児もおり、ひとつの学級のような雰囲気も出てきた。

2時間目は「せいかつ」の学習を行った。雪がなく、雪遊びが実施できなかったので、「宝物あて」に内容を変更し、保護者の方にも一緒に参加していただいた。このレクリエーションは、容器の中にどんぐりやカエデなどの木の实が入っていて、音や重さだけで探し当てるゲームだ。どの子も一生懸命に音を聞き分けながら探っていた。途中、ヒントを用意してみんなが正解することができて大喜びだった。

その後は、「たいいく」を行った。しっぽとりゲームで体を温めたあと、親子で指に小枝をはさんでコーンをまわる「小枝運びリレー」を行った。各グループで競い合いながら楽しんでいた。後半には「船上山アスレチック」を用意し、親子でトランポリンやターザンロープ、一本橋わたり、ストラックアウトなどいろいろな運動が楽しめる活動で体を動かした。

きゅうしょく(昼食)では、従来のように参加者が配膳するいわゆる給食方式ではなく、あらかじめバットに用意された食事をテーブルに運んで食べていただいた。緊張したり運動したりとお腹が減っていた子どもたちは、グラタンがあることにニコニコ笑顔で、残菜もほとんどなくしっかり食べていた。

4時間目は「ずこう」の学習を行った。一枚の木の板に木の实や小枝を使って動物を表現する「もりの動物園」を行った。グルーガンを使う活動なので、安全のために保護者の方にも参加していただいた。一緒に創作活動を楽しみながら、子どもの発想に感心したり、驚いたりする保護者の姿もあった。完成した作品にみんな満足そうで、持ち帰るのを楽しみにしている様子であった。

5時間目の「がっかつ」では、一日を振り返り、感想を記入した。子どもたちは文字を書くことにまだ慣れていないので、保護者に手伝うようお願いをした。しかし、中には自分で書きたいという園児もおりとても意欲的で感心した。

発表する時間をとったときも、積極的に手を挙げて思いを伝えようとする園児が多く、楽しかった思いが十分に伝わってきた。初めて出会う仲間や大人も多くいる中で、自分の気持ちが言えることは素晴らしいことだと感じた。



かえりのかい(別れのつどい)では、まず時間ごとの「姿勢・協力・元気よく」で、すべての時間で花丸を獲得したことをほめると、ガッツポーズをする園児もおり、ともに喜び合った。また、校長先生(所長)から頑張ったご褒美に記念の缶バッジを渡されとても笑顔でスクール体験入学を終えることができた。

## Ⅲ 総括

### Ⅰ アンケート結果

#### 《参加者の満足度》

(参加者22名 アンケート 回収率 100% 22名)

事業全体の満足度:満足 22名

#### 《参加者の感想(抜粋)》

##### 【園児】

- ・さいしょはどきどきしたけど、たいいくがたのしかった。
- ・きいろグループさんとなかよくあそんだことと、ずこうがたのしかった。
- ・すこうがたのしかったです。そのわけは、じぶんでかんがえてくれたからです。
- ・またいきたいです。

##### 【保護者】

- ・コロナ禍で体験入学ができなかったのでこういった機会があり、うれしかったです。つつい注意したくなるような場面もありましたが、先生方が肯定的な声掛けをしてくださったので、よいところに目を向けることができました。初めての小学校なのでこんな所なんだという事が分かり良かったです。
- ・小学校に向けて、いろいろな課題があると感じました。座る姿勢・話の聞き方・態度など、この機会に姿が見られて良かったです。本人は楽しく満足気で参加して良かったです。
- ・長時間になるので心配でしたが、集中力が持つようにいろいろなプログラムがあって良かったです。小学校生活がちゃんと送れるか不安もありますが、今日参加して、何となく様子が分かって安心できました。
- ・こういった船上山のイベントにも参加できるようになるくらい子どもがおおきくなったんだなあ感慨深かったです。

## 2 成果

- ・活動的な学習内容を多く取り入れ、肯定的な評価を意識して進めたことで、参加者も楽しく活動することができ、近づいてきた小学校生活へのイメージ作りに役立てた。
- ・保護者の方にも、小学校生活の子どもの姿がイメージしやすい活動ができ、これからの生活に見通しを持っていただくことができた。
- ・船上山少年自然の家の特色を活かしたスクール体験入学のプログラムを実施したことで、船上山にまた行きたいという気持ちを高めることができた。

## 3 課題

- ・定員が割れていたのもう少し広報の工夫が重要となってくる。
- ・3月に開催されると勘違いしていた参加者もおられたので、入学を意識する3月初めに日程を変更しても良いかもしれない。
- ・今回は積雪が少なく、雪遊びを実施できなかったが、可能ならば自然体験活動は取り入れたい。